

広報 いちかわ

2014年(平成26年) 3月1日 NO.1491
毎月第1・第3土曜日発行

街のために 今できること



多くの犠牲者を出した、東日本大震災から間もなく3年が経過しようとしています。
被災地の消防団員は、地域住民を守るため、
消火活動をはじめ、がれきからの救助救出や津波からの避難誘導など、
率先した活動を行い、今も多くの命を救うことに貢献しています。
消防団員は、地域の中核的存在で防災リーダーとしての重要な役割を担っていますが、
本市を含め全国的にも減少傾向にあります。
自分たちの街は自分たちで守る消防団員を募集しています。

消防団とは

普段は本業の仕事を持ちながら、災害時には消防業務に従事する非常勤の地方公務員です。
災害時以外にも、防火防犯パトロールや、催し物の警備など幅広く行っています。

☎333-2111 (音声ガイダンス・3番) 消防局 警防課 市民防災担当室



今週号の紙面から

- 特集 ● 守るマナーと広がる活動 …… 4-5面
- 特集 ● 海と親しむ
市民が憩う街づくり …… 8-9面

- 市役所本庁舎の建て替え
市民ワークショップ …… 2面
- 4月1日(火)から、雑がみを紙袋で出せます …… 3面
- 健康スポーツ教室 …… 6面

- シニアカレッジで生きがいづくり …… 7面
- 狂犬病予防集合注射 …… 7面
- 公民館の図書室へ行こう …… 10面
- 神作光一のひもとく和歌の世界 …… 11面